

平成30年度各会計予算に 対する各会派等の 意見表（要旨）

自民党豊島区議団

公明党

日本共産党

民主ネット

都民ファーストの会としま

刷新の会

無所属元気の会

平成30年度一般会計及び3特別会計予算に賛成する。30年度予算は、5年連続で財政調整基金を取り崩すことなく編成するなど財政健全化の流れを維持した予算編成であると評価できる。その一方で、投機的と言わざるを得ない投資的経費も一部みられた。

款別に述べる。受動喫煙対策として、何処に喫煙所を設けるか慎重な検討を。望まない受動喫煙を減らし、喫煙者がルールを守ること

で気持ちよく吸える環境作りを要望する。池袋西口公園の整備費は27億円、うちパーゴラが8億円と高額である。費用や安全面など、

区民が納得できる説明を。副都心移動システムは、導入によりどのような価値が創出されるのかまだ見えない。区民の「最大の利益」のため導入についても引き続き検討を。トキワ荘復元施設建設の積算は、9億5千万円と莫大。周辺住民の声を聴き、費用圧縮などの

検討を。特別会計の国民健康保険事業会計では、外国人への対策等、更なる収納率の向上を。支払いが困難な方に対しては、きめ細かな対応を要望する。

平成30年度一般会計予算及び3特別会計予算の可決に賛成する。総括として、持続発展都市に向け、区民サービスの充実等、発展的な施策を評価する。

【款別の主な意見と提案】
政策経営費・総務費等
多言語タブレットの活用等多文化共生の支援強化。「東京くらし防災」の周知徹底と設置推進。

区民費・福祉費・衛生費
障がい者の排泄設備の簡素化など支援強化。ロ

タウイルスワクチン助成対象の拡充。健康長寿延伸のため、検診事業の充実。環境清掃費・都市整備費
自転車ナビラインの設置。駐輪場定期利用制度の見直しと利用料金の精査。大災害時の輸送道路確保の取組強化。

文化商工費・教育費等
生産性向上特別措置法案の導入促進計画の策定。待機児童対策に実態把握のアンケートト実施。子どもスキップの職員確保。

国民健康保険事業会計
医療費削減に向け重複受診、頻回受診等の調査研究。介護保険事業会計
認知症初期集中支援事業の充実と周知徹底。

2018年度一般会計及び3特別会計予算に反対。第一に福祉・くらしが最優先になっていない。わが党の要求で生活保護の入浴券増、子どもスキップ職員

の待遇改善、中学生の長崎平和祈念式典参加等の前進面はあったが、防災、住宅子育て、高齢者、障がい者施策等いずれも不十分。また総合窓口の民間委託で起こった個人情報不適切な使用は重大問題。

第二に区民を無視し大企業と来街者のための予算である。「国際アート・カルチャー都市」の東アジア文

化都市、ハレザ池袋、池袋西口公園、電気バス、市街地再開発等、膨大な費用がかかるにもかかわらず一方的に強行されている。

第三に将来に禍根を残す財政運営になっている。これら膨大な費用が投資的経費増の要因となり、今後の債務超過を生み、5年後の起債（借金）は48億円と今年度比200億円の増。必要な区民サービスを更に圧迫するのは必至である。

保険料を値上げする国民健康保険、後期高齢者医療必要なサービスが受けられない介護保険も反対。

4会計予算の可決に賛成する。オリンピック・パラリンピック後の街の活力維持に資する、国際アート・カルチャー都市を具現化する戦略や少子高齢化に対応し区の強みを生かす戦略等が見られる点を評価する。

防災施策ではインバウンド外国人対応を民間事業者との連携で急ぐべき。ロタウイルス予防接種助成経費の計上を評価。接種スケジュールのアドバイスなど丁寧な対応を。宿泊型産後ケア助成経費の計上を評価。

小公園等を区民の憩いの場・園児の安全な遊び場として活かす施策に期待。空き家対策は発生抑制に土業等との連携を。一人親家庭

等が利用しやすくなる病児保育の助成枠拡大を評価。起業支援の成果検証を。子育て世代の起業者の保育の課題にも着目し、働き方・暮らし方の総合的支援を。障害者差別解消法施行3年目の検証を。基金と起債の将来見通しを見据え財政計画の再検証を。庁舎等建設

基金の目的外運用が続いた過去の財政危機の構造を総括し今後活かすとともに、財政計画の将来見通しに会計制度を活用されたい。

平成30年度一般会計予算3特別会計予算の可決に賛成の立場で意見を述べる。今回も「ワイズスペンディング（賢い支出）」税金の有効活用の観点を中心に、都民ファースト視点で審査した。持続発展可能都市の実現に向けて、子育て関連事業や、投資事業に積極的に予算を配分し、未来につながる30年度予算と評価。

以下、款別に意見を述べる。政策経営費では、旧第十中学校跡地のスポーツ施設整備に期待。総務費では、女性活躍の場を推進し、働きやすい環境づくり施策を。都市整備費では、空家活用条例により空家活用を更に進め、マンション内でのト

ラブルがないようサポートを。公園の全面禁煙化を実施し、受動喫煙対策を。文化商工費では、オリンピック・パラリンピック気運醸成事業を進めるとともに、子ども達へ共生社会実現に向けての教育の充実を。

3特別会計について、全国に先駆けて実施する選択的介護は、持続可能な制度にしていくためにも、都と連携し、区の実情に踏まえたモデル事業の実施を望む。

平成30年度一般会計並びに3特別会計予算について、賛成の立場で意見を述べる。款別にみると、議会費・政策経営費・総務費では、議長交際費を抑える努力を。若年女性層の区内定住率・人口増加等に貢献している女性にやさしいまちづくり担当課の予算の充実を。投票事務従事者への謝礼を抑える努力を。区民費・福祉費・衛生費では、多重なワ

クチン接種による0歳児の体への負担がないのか議論を。環境清掃費・都市整備費では、賃貸マンションへも耐震診断・耐震改修費への助成を。池袋西口公園整備工事における、特にパーゴラの経費大幅削減に向けた努力を。文化商工費・子ども家庭費・教育費では、新ホールの収支予想について赤字とならない論理の構築を。その際、経済波及効果からもたらされる税収にも言及を。ISS活動については、高コスト体質からの脱却と認証制度への参加

自体の再検討を求める。3特別会計については、介護保険から移行した軽度の要介護者向けサービスを利用者にとってよりよいものとするよう要望する。

子どもと女性にやさしいまちづくり、国際アート・カルチャー都市推進を柱に、今後も多額の支出が予想されるため、公民連携による財源の創出や支出の削減、区民サービス向上が強く求められる。そのため、にぎわいの創出が区民サービスにつながるのか、公民連携や区民参加が意識された予算、事業となっているかを念頭に審査した。

個別の案件では、20東京オリンピック・パラリンピックという貴重な機会に、豊島区の子ども達が関わられるよう、エスコートキッズ等、区からしっかり働きかけるよう確認したほか、整備中のフリーWi-Fiが来街者だけでなく区民にとっても使いやすいものとなるよう更なる整備を要望した。

また、池袋西口公園のリング屋根だけで約8億円は明らかに高額。それを活用した財源捻出など利活用できるような見直しを求める。若者世代、子育て世代が豊島区に定着し、住み続けてもらえるよう、危機感を持って予算と事業の執行に努めることを要望し、平成30年度一般会計予算及び3特別会計予算に賛成する。